

NETSU TO HAGANE

鉄と鋼

The Journal of The Iron & Steel Institute of Japan

主 要 目 次

随 想

第66回講演大会について……………武田喜三…1859

論 文

キルン内の原料移動および温度分布……………荒川秀雄, 他…1861

高アルミナ鋅滓の粘性と流動性について……………児玉惟孝, 他…1869

溶融錫-鉛2元系の活量の測定……………後藤和弘, 他…1873

炭素鋼の合成粉末スラグ処理の効果について……………加藤剛志…1879

鋼種による熱応力亀裂の発生度合を比較する

ための高温弾性率および熱膨張率の測定…原 隆啓, 他…1885

蒸気タービン軸車材のオーステナイト粒度と

クリープ破断強度の関係について……………渡辺十郎, 他…1892

1Cr-1 $\frac{1}{4}$ Mo-1/4V 鋼の高温強度におよぼす

焼入および焼戻温度の影響……………佐々木良一…1899

含P20Cr-11Ni-2Mo系耐熱鋼の研究……………日下邦男, 他…1906

Fe-Cr-N系状態図について……………岡本正三, 他…1915

特 別 講 演

溶鉄中炭素・酸素の活量について……………萬谷志郎…1922

共同研究会報告

鉄鋼分析の最近の動向について……………池上卓穂…1931

NO. 13
VOL. 49
DEC. 1963

社 団 法 人 日 本 鉄 鋼 協 会

The Iron & Steel Institute of Japan

Japan Travel Bureau Bldg., 1, Marunouchi-1-Chome
Chiyoda-ku, Tokyo, Japan

Price;

¥200 per copy (excl. postage)
¥1000 per volume (with 4 Subj. Issues ¥750 per copy)